化学名索引

化学名による索引である。本体の「使用法」で断っているように、本書では、見たいスペクトルを「サンプル収載リスト」で探すやり方を基本としている。

50 音による化学名索引は網羅的ではなく補助的な位置づけであり、「収載リスト」で探しにくい次のようなポリマーに限定している。この前提で利用願いたい。

①余りポピュラーではないので、名称からは、リスト中のどのグループに属するか判断しにくいポリマー

②本書で、世間一般とは異なる分類をしたもの

たとえばアルキド樹脂は、世間では熱硬化性樹脂に分類していることが多いが、本書では「半芳香族系ポリエステル：コーティング用」に入れた。このようなものも対象としている。

<表の見方>

総称的な名称には、*を付けてある。ただし、総称か個別名称かの区別には、曖昧さがある。

化学名	Code
アイオノマー*	A1-235x
アラミド*	K4-xxx
アリル樹脂*	R1-xxx
アルキド樹脂*	I8-223
イソブチレン/イソプレン	T2-201
ウレタンアクリレート樹脂*	E4-3xx
液晶ポリエステル*	I9-20x
液状フッ素ゴム*	T6-141
エチレン/一酸化炭素共重合体	A4-241
	J2-101
エチレン・プロピレン/一酸化炭素	J2-103
エチレン/α-オレフィン共重合体	A1-111B 他
	T1-1xxx V2-102～105
エチレン/テトラシクロドデセン	A4-611x
エチレン/ノルボルネン	A4-211x
エポキシアクリレート樹脂*	E4-205
エボナイト	Z1-105
塩素化ポリエチレン	T3-111
塩素化ポリプロピレン	A2-301
カシュー	Z1-121
カゼインプラスチック	Z2-111
クロロスルホン化ポリエチレン	T3-121
グリシジルエステル樹脂*	P2-10x
グルー	Z2-113
シアネート樹脂*	O7-101
シアノアクリレート樹脂*	E4-102
ジアリルフタレート樹脂	R1-101
ジアリルイソフタレート樹脂	R1-102
シェラック	Z2-101
シンジオタクチック 1,2-ポリブタジエン	V4-131

化学名	Code
ジエチレングリコールビスアリルカーボネート樹脂	R1-111
水素添加スチレンブタジエンゴム	V1-113
	V2-201
水素添加ニトリルゴム	S6-301
	T5-105
ゼイン	Z1-131
セラック	Z2-101
セルロイド	G1-430
多硫化ゴム*	U2-xxx
ツェイン	Z1-131
テトラグリシジルジアミノジフェニルメタン	P3-103A
トランス 1,4-ポリイソプレン	V4-135
トリアジン樹脂*	O7-101
尿素樹脂	O4-101
ノルボルネンゴム	S4-101
パーフルオロエラストマー*	T6-131
ビスマレイミドトリアジン樹脂*	L1-521
ビニルエステル樹脂*	Q2-xxx
N-フェニルマレイミド樹脂	L5-1xx
フェノキシ樹脂*	H2-xxx
フタル酸ジグリシジルエステル樹脂	P2-101A
プテン-1/α-オレフィン共重合体	V4-102
フラン樹脂*	O3-101
プルラン	G2-102
フルオレン系ポリエステル	I7-201
プロピレン/α-オレフィン共重合体	A2-201 他
	T1-1xxx V3-xxx
ヘキサヒドロフタル酸ジグリシジル	P2-105A

商品名索引

商品名による索引であり、種々の商品名について該当する Code を提示したものである。

本書では、構造で分類した「収載リスト」を用いて目的のポリマーのスペクトルを探す方式であり、従って、構造に関する知見が必要であるが、一方、世間では、構造は前に出さず、専ら商品名を用いているポリマーも多い（構造が複雑なため、化学名は使用しにくい場合等）。

商品名だけ知っていて構造に関する知見がないポリマーのスペクトルを探す場合、本索引が役立つ。

<利用上の注意>

(1) 対象

あらゆる商品名を網羅してはいない。次のようなものが中心である。

・商品名が化学名の代わりに使われているポリマー

・複数のメーカーがある場合、良く知られた商品名を優先。知名度が低いものはカバーしていない。

・実際に測定に使用したかどうかは無関係。使用しなくても上記条件に合えば取り上げた。

(2) 表記法

国産品は日本語表記、外国製は英語表記を原則としたが、外国品の国産化もあり、厳密ではない。

また、複雑な名称の場合、参考のため、両方を記載するようにした例もある。

英語の場合、大文字表記か小文字併用かはメーカーのスタイルに従ったが、これも曖昧さがある。

商品名	素性	Code
BT レジン	マレイミド/シアネート	L1-521
G-ポリマー	ポリビニルアルコール系	D1-203
HSクリスタ	ポリオクタデセン	A3-305
MX ナイロン	ナイロン MXD-6	K3-132
KF-ポリマー	ポリフッ化ビニリデン	C3-215b
U ポリマー	ポリアリレート	I9-211
アオニレックス	バイオポリエステル	I3-205
アクリフト	エチレン/MMA	A1-220
アートン D4520	環状ポリオレフィン	A4-712
アートン F-4520	環状ポリオレフィン	A4-701
アフラス 150E	フッ素ゴム	T6-111
アフラス 200	フッ素ゴム	T6-113
アフロン COP	エチレン/テトラフルオロエチレン系	C3-205
アペル	環状ポリオレフィン	A4-611x
アミラン	ナイロン	K1-117 他
アルテスタ 45	環導入ポリエステル	I5-215
ウルトラセン	エチレン/酢酸ビニル	A1-201x
エバール	エチレン/ビニルアルコール	D1-201
エピクロマー	エピクロロヒドリンゴム	U1-xxx
エルモーデュ	低結晶性ポリプロピレン	A2-103
オペロン	ポリウレタン弾性繊維	X1-126
オーラム	熱可塑性ポリイミド	L1-105
サーモラン	ポリプロピレン系 TPE	V3-101A
ザイダー	液晶ポリエステル	I9-201a
サイトップ	透明フッ素樹脂	C4-102
サイフェル	液状フッ素ゴム	T6-141
ザイロン（Zylon）	ポリベンズオキサゾール	L3-101
ザイロン（Zyron）	変性ポリフェニレンエーテル系	I3-401a I3-43A
ザレック	シンジオポリスチレン	B1-102A

商品名	素性	Code
ジェネスタ	ポリアミド 9T	K3-107
シブスター	スチレン/イソブチレン	V1-118
ジュラコン	ポリオキシメチレン	H1-201B
ジュラファイド	ポリフェニレンスルフィド	M2-101A
スミカスーパー E101	ポリヒドロキシ安息香酸	I9-101
同 E2000	液晶ポリエステル I	I9-201
ゼオノア 1060R	環状ポリオレフィン	A4-321
ゼオノア ZF14	環状ポリオレフィン	A4-333
ゼオノア ZF16	環状ポリオレフィン	A4-533
セビアン	スチレン/メタクリレート	B1-230
セプトン 1000	水添スチレン/ジエン系	V1-111A
セプトン 2000	水添スチレン/ジエン系	V1-111B
セプトン 4000	水添スチレン/ジエン系	V1-112
ソルバイン C	塩化ビニル/酢酸ビニル	C1-205x
ソルバイン MS	塩化ビニル三元系	C1-210
ダイナロン 2324P	水添スチレンブタジエン	V1-113
ダイナロン 4600P	水添スチレンブタジエン	V1-117
ダイナロン 6200P	水添ポリブタジエン系	V2-107
タフテック P2000	スチレン/ブタジエン	V1-105
タフマー A	エチレン/ブテン-1	V2-102
タフマー BL	ブテン-1/プロピレン	V4-102
タフマー PN	PP 系エラストマー	V3-105
タフマー XM	PP 系プラストマー	V3-108
テクノーラ	パラ系共重合アラミド	K4-202
テフロン	ポリテトラフルオロエチレン	C3-101
デュラビオ	バイオポリカーボネート	I2-212
ネオフロン FEP	共重合フッ素樹脂	C3-201
ネオフロン PFA	共重合フッ素樹脂	C3-202
ノーメックス	メタ系アラミド	K4-111
ノティオ SN	シンジオ PP 系エラストマー	V3-106

略号の索引

ポリマーの場合、化学名の代わりに略号が用いられることも多い。本索引は、各略号の意味と対応するポリマーの Code を示したもので、前章の「商品名索引」と同じような利用が可能である。

＜注意事項＞

①本索引で挙げた略号は、必ずしも ISO や JIS 方式ばかりではないが、世間で使用されているものである。
他方、本書の本体で採用した略号は、多くのポリマーを識別するために制作者が考案したプライベートな略号が多く、本索引での略号とは完全一致しないものが多い。

②総称的な略号には ＊を付けた。

略号	名称・意味	Code
AAS	ABS 樹脂のゴム成分変種	B1-222
ABS	ABS 樹脂：アクリロニトリル/ブタジエン/スチレン三元系	B1-207x
ACM	アクリルゴム＊	T4-101
ACS	ABS 樹脂のゴム成分変種	B1-223
AES	ABS 樹脂のゴム成分変種	B1-221
ALK	アルキド樹脂	I8-223
APC	脂肪族ポリカーボネート＊	I2-1xx
AS	スチレン/アクリロニトリル	B1-205
ASA	AAS と同一	B1-222
BR	ブタジエンラバー	S2-101x
BT	BT レジン	L1-521
CA	酢酸セルロース	G1-302
CAB	酢酸酪酸セルロース	G1-308
CAP	酢酸プロピオン酸セルロース	G1-306
CBT	環状 PBT	I5-104
CEBC	水添ポリブタジエンブロック系	V2-107
CF	クレゾール樹脂	O1-103
CM	塩素化ポリエチレンゴム	T3-111
CMC	カルボキシメチルセルロース	G1-329
CN	硝酸セルロース	G1-330
CO	単独系ポリエーテルゴム	U1-101
COC	環状オレフィンコポリマー＊	A4-211 他
COP	環状オレフィンポリマー＊	A4-211 他
CP	プロピオン酸セルロース	G1-304
CPE	塩素化ポリエチレン	T3-111
CPVC	塩素化ポリ塩化ビニル	C1-301
CR	クロロプレンゴム	S5-101a
CS	カゼインプラスチック	Z2-111
CSM	クロロスルホン化ポリエチレン	T3-121
CTA	三酢酸セルロース	G1-303
DAP	ジアリルフタレート樹脂	R1-101
EAA	エチレン/アクリル酸	A1-230
EC	エチルセルロース	G1-321
ECO	二元系ポリエーテルゴム	U1-201
ECO	エチレン/一酸化炭素	J2-101
ECTFE	共重合フッ素樹脂の一種	C3-211
EEA	エチレン/アクリル酸エチル	A1-210
EMA	エチレン/アクリル酸メチル	A1-205
EMAA	エチレン/メタクリル酸	A1-232
EP	エポキシ樹脂＊	P グループ

略号	名称・意味	Code
EPDM	エチレンプロピレンジエンゴム	T1-111x
EPM	エチレンプロピレンゴム	T1-101
EPR	エチレンプロピレンゴム	T1-101
ETFE	エチレンテトラフルオロエチレン	C3-205
EVA	エチレン/酢酸ビニル	A1-201
EVE	ポリエチルビニルエーテル	-
EVOH	エチレン/ビニルアルコール	D1-201x
EVM	エチレン酢酸ビニルゴム	T5-111
EX	エポキシ樹脂＊	P-xxx
FEP	共重合フッ素樹脂の一種	C3-201
FKM	一般的フッ素ゴム＊	T6-xxx
FFKM	全フッ素エラストマー	T6-131
GECO	三元系ポリエーテルゴム	U1-203
GPPS	汎用ポリスチレン	B1-101
HDPE	高密度ポリエチレン	A1-101x
HIPS	耐衝撃性ポリスチレン	B1-201x
HNBR	水素添加 NBR	S6-301
HPC	ヒドロキシプロピルセルロース	G1-326
HPLDPE	高圧法低密度ポリエチレン	A1-104
IIR	ブチルゴム	T2-201
IONO	アイオノマー	A1-235
IR	イソプレンゴム	S1-101b
LCP	液晶ポリエステル＊	I9-20x
LDPE	低密度ポリエチレン	A1-104
LLDPE	直鎖状低密度ポリエチレン	A1-111*
MAH	無水マレイン酸（原料）	A1-208 他
MBS	ゴム変性スチレン系	B1-231
MDI	イソシアネートの一種	X1-101
MDPE	中密度ポリエチレン	A1-103x
MF	メラミン樹脂	O5-101
MQ	シリコーンゴム＊	Y5-201
MS	メタクリル酸メチル/スチレン	B1-230
MVE	ポリメチルビニルエーテル	D2-201
NBR	ニトリルゴム	S6-101
NDI	イソシアネートの一種	X2-301
NOR	ノルボルネンラバー	S4-101
NR	天然ゴム	S1-101
Ny	ナイロン＊	Kx-xxx
OT	多硫化ゴム＊	U2-201
PA	ポリアミド＊	Kx-xxx
PAE	ポリアミドエラストマー＊	W3-xxx

部分構造索引

こういう「部分構造」を持ったポリマーにどんなものがあるか　という探し方が出来るガイドである。

たとえば、「エーテル結合」の表を見ると、リストの「H ポリエーテル」にあるポリマー以外にも、非常に多くのポリマーがエーテル結合を持っていることが判る。

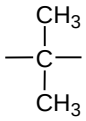
色々なポリマーが所有する部分構造が中心であるが、一部のポリマーしか所有しない特異な構造も取上げた。

スペクトルの解釈に活用できるだけでなく、眺めるだけでポリマーについての知識が増えるはずである。

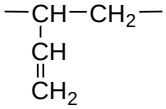
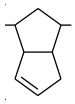
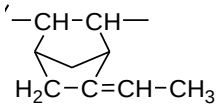
＜表の見方＞

対象となるポリマーが多い場合、多くの Code を列挙する代わりに関係する「モノマー」1 個の名称の記載で済ませている場合がある。該当するポリマーは「原料モノマー索引」を参照されたい。

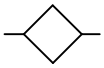
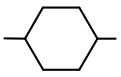
■メチレン連鎖（骨格）・分岐アルキル基

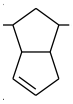
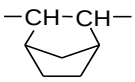
長鎖メチレン		gem−メチル・イソプロピリデン系				その他分岐骨格		分岐アルキル基	
$-(CH_2CH_2)_n-$				I1-103	O7-10x	プロピレン		A3-201	E2-102G
				I6-225	P1-131x	ブテン	V1-111B	E1-103	E2-102I
エチレン	V1-114			I9-221	T2-xxx	A3-201	V1-114	E1-104B	E3-105
T5-105	V1-117			I9-225	V1-118	A3-305	V2-107	E1-104C	E3-115
V1-112	V2-107	ビスフェノール A		K3-108	X0-106	K3-108	V2-201	E1-108	
V1-113	V2-201	E4-324	G1-430	L1-3xx		K3-211	X2-141	E2-102F	

■不飽和結合

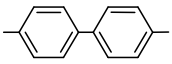
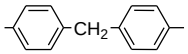
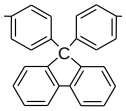
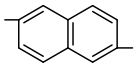
主 鎖			側 鎖		環 内		環 外	
$-C=C-$								
S グループ								
B1-201A〜B1-211		A4-101						
B1-231		A4-301						
V1-101〜V1-105		F1-205	V1-101〜V1-109		A4-301	Z1-150		
V4-112	V4-135	T2-201	V4-131	U1-203	T1-111B	Z2-101	T1-111Aa	

■シクロアルカン：単環・複合環・架橋環

ブタン単環			ペンタン単環		ヘキサン単環					
							I1-105	I5-211	I9-221	P2-105
							I2-2xx	I6-xxx	K2-106	P4-105
							I4-117	I7-201	K3-301	W2-402
I6-226			A4-101	A4-712	E2-102M	E4-324	I4-176	I8-212	P1-131x	X0-106

ペンタン複環			ペンテン複環等			架 橋 環			
								A4-7xx	Q1-122B
						A4-211	A4-533	E2-102N	Q1-316
A4-321	A4-333	A4-533	A4-301	T1-111B	Z2-101	A4-333	A4-611	G1-430	T1-111x

■ベンゼン環：ビフェニル・連結多環・縮合

ビフェニル環			ジフェニルメタン構造			フルオレン環		ナフタレン環	
									
		L2-101x			O2-xxx				
					ビス F 系				
I9-201x	L1-111	M1-105	L1-115	L1-501	P3-103A			I7−xxx	W2-204
L1-105	L1-113	P1-111x	L1-203	O1-xxx	X の MDI	I7-201	P1-115	I9-202	X2-301

元素索引

「このモノマーを使用したポリマーにどんなものがあるか」という探し方をしたい場合のガイドである。
たとえば、元素分析で特異な元素が検出されたので、これを踏まえて定性しようとした時に利用できる。
ただし、C と H、O は対象から除外してある。対象が多過ぎて参考にならない。

元素	該当ポリマーのタイプ	左の Code
N	アクリロニトリル使用ポリマー	原料モノマー索引参照
	ポリアミド;ポリアミド系エラストマー	Kグループ;W3-xxx
	ポリイミド;マレイミド	L1-xxx;L5-xxx
	N-フェニルマレイミド原料	原料モノマー索引参照
	ポリウレタン・ポリイソシアヌレート・ポリウレア	X グループ
	ポリベンズイミダゾール;ポリベンズビスオキサゾール	L2-xxx;L3-101
	ユリア樹脂;メラミン樹脂	O4-101;O5-xxx;
	ベンゾグアナミン樹脂	O6-xxx
	シアネート樹脂	O7-xxx
	アミン硬化エポキシ樹脂	P グループ
	オキサゾリン系	B1-240
S	サルホン	M1-xxx;L1-315
	サルフィド	M2-xxx U2-xxx
	スルホン酸;スルホン化物	C5-111 I8-206 I8-212;L2-301
	クロロスルホン化物	T3-121
F	フッ素樹脂	C3-xxx C4-xxx C5-111
	フッ素ゴム	T6-xxx W1-301
	フッ素変性アクリル樹脂	E2-225
	フルオロシリコーン	Y2-xxx Y6-201
	ポリパーフルオロパラキシリレン	B3-107
Cl	塩化ビニル使用ポリマー;ポリ塩化ビニリデン	原料モノマー索引参照;C2-xxx
	クロロフッ素樹脂	C3-1110
	エピクロロヒドリンゴム	U1-xxx
	塩素化物	A2-301 T3-111 B1-223
	クロロスルホン化物	T3-121
	ポリクロロパラキシリレン	B3-105
	クロロジアミンを用いたポリウレタン・ポリウレア	X7-114
Br	臭素化物	T2-302
Si	シリコーン系	Y グループ
	ポリジメチルシロキサンとのブロック共重合体	I1-202 L1-321 P6-205a
	水架橋ポリエチレン;フッ素ゴムの末端変性	A1-237;T6-141 U3-101
Na	カルボン酸塩(アイオノマー)	A1-235A A1-235C
	カルボン酸塩(カルボキシメチルセルロース)	G1-329
	スルホン酸塩	I8-206 I8-212
Mg	カルボン酸塩(アイオノマー)	A1-205E
Ca	カルボン酸塩(アイオノマー)	A1-235F
Zn	カルボン酸塩(アイオノマー)	A1-235B A1-235D

原料モノマー索引

「このモノマーを使用したポリマーにどんなものがあるか」という探し方をしたい場合のガイドである。

たとえば、ビスフェノールＡを原料とするポリマーの場合、ポリカーボネートやエポキシ樹脂が直ぐに浮かんでくるが、これら以外にも種々のポリマーに使われている。本索引ではこれらを網羅している。

この観点では網羅的であるが、ただし、取り上げているモノマーは、種々のポリマーに使用されている汎用性があるモノマー中心で、特定のポリマーにしか使用されていないモノマーは対象外である。

「部分構造索引」と同じであるが、スペクトルの解釈への活用だけでなく、眺めることでポリマーについての知識が増える効果も期待している。

＜構成＞

広い意味で重合反応に用いられる原料を３タイプに分類して、それぞれから得られるポリマーを示した。

①低分子量モノマー（表１）

通常のモノマー。硬化性樹脂のプレポリマー用モノマーも含める。

②ポリマー型反応原料：広義のマクロモノマー（表２）

マルチセグメント（マルチブロック）形成のためのポリマーや、グラフト鎖形成のためのマクロモノマーが対象である。これを作るための低分子量モノマーについては、表１の中では★を付してある。

③リアクターブレンド用ポリマー（表３）

②に類似するが、反応容器の中で他のモノマーと接触して「アロイ」を製造するのに使用されるポリマーを対象としている。このための低分子量モノマーについては、表１の中では◆を付してある。

表1 低分子量モノマー

モノマーの種類	左から作られるポリマーの種類	左の Code		
アクリロニトリル	ポリアクリロニトリル：ホモおよび共重合体	F1-xxx		E1-213
	（上を配合したポリウレタンフォーム）	X1-117	X1-228	
	塩化ビニリデンとの共重合体	C2-207		
	スチレンとの共重合体	B1-205～223		
	N -フェニルマレイミドとの共重合体	L5-151		
	ニトリルゴム、水素化ニトリルゴム	S6-xxx	T3-101	
	（上を配合したポリ塩化ビニル系エラストマー）	S6-401	W1-101	
アクリル酸 メタクリル酸	エチレンとの共重合体	A1-230～235		
	塩化ビニルとの共重合体	C1-208	C1-212	
	アクリル酸エステルとの共重合体	E1-211A	E1-211B	
	エポキシアクリレート、ウレタンアクリレート等	E4-xxx		
	メタクリロニトリルとの共重合体	L5-201		
アクリル酸エステル メタクリル酸エステル	アクリル酸エステル同士の重合体	E1-xxx～E2-xxx に多数		
		T4-101	W1-201	
	エチレンとの共重合体	A1-205～222		T5-101
	スチレンとの共重合体,	B1-210	B1-211	B1-222
		B1-230～232		B1-235a
	N -フェニルマレイミド/スチレンとの共重合体	E2-223	L5-152	
	塩化ビニル、塩化ビニリデンとの共重合体	C1-207	C1-222	C2-205
	アクリロニトリルとの共重合体	F1-201	F1-205	
	シリコーンとの共重合体	Y8-102		
アジピン酸	ポリエステル	I4-12x	I5-206	I5-303
	★ポリウレタンのソフトセグメント用ポリエステル	X0-015	X2-xxx	
	ポリアミド	K1-111	K1-113	K1-212
		K3-132	K3-222A	K3-226
一酸化炭素	エチレン、プロピレンとの共重合体	A4-241	J2-101	J2-103

サンプル情報・測定条件

L ポリイミド・ポリイミダゾール・ポリアクリルイミド

Code	商品名・グレード（メーカー）	構造の根拠	定量値の根拠	前処理法
L1-101	カプトン（東レデュポン）	公表		粉砕−圧着
L1-105	オーラム（三井化学）	文献 1		粉砕−圧着
L1-111	UPILEX−S（宇部興産）	公表		粉砕−圧着
L1-113	UPILEX−R（宇部興産）	公表		粉砕−圧着
L1-115	P84　NT1 HCM（ダイセル・エボニック）	概要＋文献 2	文献 2	粉砕−圧着
L1-202	Torlon　T4203（Solvay）	概要＋文献 3	文献3	粉砕−圧着
L1-203	ケルメル繊維（Kermel/船山）	公表		粉砕−圧着
L1-301	ULTEM　U1000（SABIC Innovation Plastics）	公表		粉砕−圧着
L1-311	ULTEM　URS5001（SABIC Innovation Plastics）	推定。文献 4		ATR
L1-315	Xtem　XH1015（SABIC Innovation Plastics）	公表		溶液 F/CLF−圧延
L1-321	Siltem　STM1500（SABIC Innovation Plastics）	公表	文献 5	溶液 F/CLF−圧延
L1-501a	Kelimide（Rhone Poulene）	公表		粉砕−圧着
L1-501b	実験室硬化物			粉砕−圧着
L1-521	実験室硬化物			粉砕−圧着
L2-101	PBI Fine Powder（佐藤ライト工業）	公表		粉末−圧着
L2-301	グレード情報なし		一般論	粉砕−圧着
L2-401	SPR7900（佐藤ライト工業）	公表	元素分析	粉砕−圧着
L3-101	ザイロン糸（東洋紡）［註 1］	公表		粉砕−圧着
L5-111	ポリイミレックス PSX 0371（日本触媒）	公表	元素分析	熱プレス−圧延
L5-151	ポリイミレックス PAS 140（日本触媒）	公表	元素分析	熱プレス−圧延
L5-152	ポリイミレックス PML 203（日本触媒）	公表	元素分析	熱プレス−圧延
L5-201	Rohas（ダイセル・エボニック）	概要＋文献 6		ATR
L5-211	Pleximid TT50（ダイセル・エボニック）	概要＋文献 7	T_g から推定	溶液 F/CLF−圧延

註 1　「ザイロン」には 2 種類の商品がある。
Zylon（東洋紡）：L3-101
Zyron（旭化成）：ポリフェニレンエーテルのアロイ：H3-101、M2-301 等

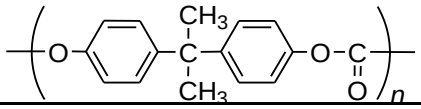
文献 1　D. Kemmish: *Practical Guide to High Performance Engineering Plastics*, Smithers (2011), pp41.
文献 2　H. B. Xiang: *Macromolecular Research*, **19**, pp645 (2011).
文献 3　G. P. Robertson: *Polymer,* **45**, pp1111 (2004).
文献 4　R. Gallucci in *Engineering Plastics Handbook*, McGraw Hill (2006), pp164.
文献 5　M. Gilbert (Ed.): *Brydson's Plastics Materials-8th ed*,　Elsevier (2017), pp574.
文献 6　*ibid*., pp455.
文献 7　*ibid*., pp453.

付録 CD：構造式のイメージ見本

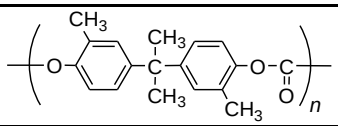
本書に掲載した構造式は、判りやすさ・正確さ・見映えをバランスさせたつもりの自信作ですが、これを Word ファイル（Windows 版）に収載して提供するものです。
ユーザーが作成するレポートへのコピー等の活用を想定しています。
そのままで拡大や縮小の加工が可能ですが、加えて Chem Draw を用いれば編集が可能になるので、テンプレートとして活用幅が広がります。

I1　ポリカーボネート：芳香族

I1-101a PC(m)	ポリカーボネート：ビスフェノール A 型：溶融法（エステル交換法）

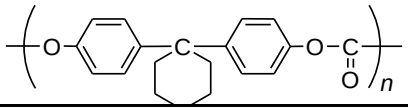


I1-103 PC:BisC	高硬度ポリカーボネート　ユーピロン® KH3410：ビスフェノール C 型

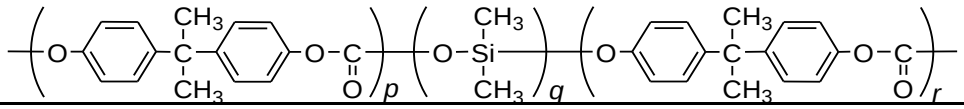


構造：反応熱分解 GC
少量のビス A との共重合体。

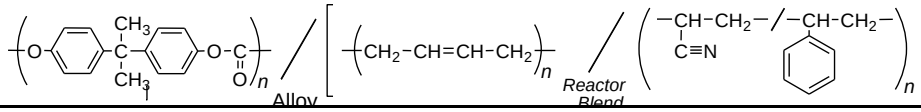
I1-105 PC:BisZ	耐熱性ポリカーボネート：ビスフェノール Z 型



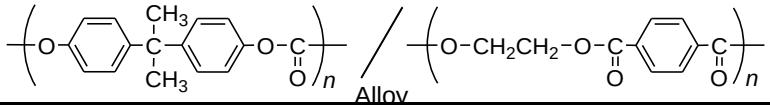
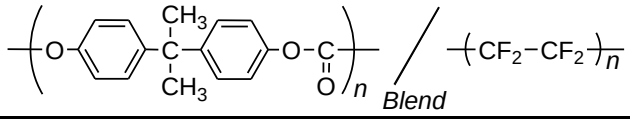
I1-202 PC/PMDS	シリコーン共重合 ビスフェノール A 型ポリカーボネート	ビス A 型 PC-b-ポリジメチルシロキサン-b-ビス A 型 PC-



I1-401 PC/ABS	ポリカーボネート/ABS 樹脂 アロイ



I1-403 PC/PET	ポリカーボネート/ポリエチレンテレフタレート アロイ



I1-404 PC/PTFE	ポリカーボネート/ポリテトラフルオロエチレンブレンド